

◇平成 21（2009）年6月29日 定例会質疑

- 1 新型インフルエンザ対策事業の拡充について
- 2 幼稚園舎の耐震2次診断について
- 3 学校ICT環境整備事業について

No.49 灰垣和美議員

意見を述べさせていただきますけれども、改めてちょっと整理をしますと、今回の追加補正は、政府の経済危機対策に基づく国の補正予算が5月29日に成立いたしました。これを受けて本市においては、地域活性化・経済危機対策臨時交付金や、各省庁経済危機対策として配分された国庫支出金などを活用し、国が求める経済対策の実施を図るための事業費10億6,257万2,000円の追加補正が提出されました。これは経済危機対策という趣旨を踏まえたもので、奥本市長の速やかな対応を高く評価するところです。

また、いろいろご意見がありましたけれども、限られた時間の中で、先ほど渡邊政策統括監からもご説明がありました、これらの項目を取りまとめられたことにも、重ねて評価をするものです。

都道府県に設置される基金を活用しての経済対策が今後進められることとなりますけれども、市民から見て、真に必要な事業を精査して、この機会を逃さずに迅速に対応されることも、重ねて要望しておきます。

次に、個々の事業について、若干、我が党の意見を述べさせていただきます。

新型インフルエンザ対策事業の拡充についてですが、今補正で予算化された資機材等の整備については評価をいたします。また、本市は、発生時には速やかな相談センターの設置、危機管理対策本部の設置を行って、昼夜を問わず対応に最大限の努力をされたことは、市民からも評価をされているところです。しかしながら、若干の課題もあったようにお聞きしています。相談件数がピーク時の相談人員体制に少し無理があったようですが、今後は人員の拡充を要望いたしておきます。また、秋以降、流行の第2波が予想されることを踏まえた万全の体制と、全庁的な対応をお願いしておきます。

次に、幼稚園舎の耐震2次診断については、前倒しで実施するという事は評価をいたします。保育所の耐震化についてなんですけれども、お聞きしますと、非常におくれていくということ。これも早期の実施をお願いしておきます。

また、今回、安全・安心の確保として、公立保育所に加え、民間の認可保育所、さらには高槻市独自の認定保育所にも門扉のオートロック化が予算化されました。これは評価するところですが、耐震化においても、同様の措置が必要であると思われますので、これも要望をさせていただきます。

最後に、教育委員会所管の事業ですが、ICT——情報通信技術ですね——を活用した学習についての調査では、各教科の客観的テストにおいて明確に効果があらわれているとい

うデータがあります。私も先進市に視察にも行ってまいりましたけれども、非常に効果が期待できるという思いで見させていただきました。したがって、今回の学校 I C T 環境整備事業について、特に電子黒板の全小、中学校への導入は大変有意義なことであり、速やかな設置を要望しておきます。

20年度、1次、2次補正、そして21年度の予算ということで、先ほどいろいろお話がございました。景気は回復をしてきているといった流れが、今、報道でもございます。私もこの効果があらわれてきていると思っております。今回の経済危機対策という名称があるわけで、この補正予算を執行することによっての効果も期待をいたしまして、私の意見とさせていただきます。

以上でございます。